

体験授業時間割

Open Campus 2026.8.9

1 限目 11:20 - 12:00

アスレティックトレーナーの世界

河野 徳良 教授

近年、WBC、ワールドカップなど日本人選手の活躍がめざましい。それらが影響し、彼らを支えるアスレティックトレーナー（以下AT）の活動も注目を浴びてきている。ここでは、さまざまな角度からATを解説し、さらに侍ジャパンヘッドトレーナーとして30年間に上りつめた経験から、ここでしか聞くことのできない内容の授業となります。

教育研究棟 2 階 2201 教室

「つい買ってしまう」には理由がある！ プロスポーツを動かすビジネスの仕組み

清宮 孝文 助教

なぜファンは限定グッズに惹かれ、プレミアム席を選んでしまうのか？本授業では「ナッジ理論」や「ウェブレイン効果」など、人の行動のクセや意思決定を読み解く理論を解説。プロスポーツチームがファンの心を動かし、ビジネスとして成果を生み出す「仕掛け」の裏側に迫る体験授業を行います。

教育研究棟 2 階 3201 教室

360 度動画による救急医療疑似体験 ～「状況把握と判断」を学ぶ～

原田 諭 助教

本学科が目指すのは、世界で活躍できる救命のプロフェッショナルです。今回は「救急医療」をテーマに、360 度動画で救急現場をリアルに疑似体験できます。緊迫する現場の状況を自ら把握し、「あなたならどう動くか」を考え行動してみましよう。命を救う判断プロセスを体験してみませんか？

教育研究棟 2 階 2202 教室

2 限目 12:30 - 13:10

健康教育をプログラムしてみよう！

小林 正利 教授

「ヘルスプロモーション」や「健康寿命」という言葉をよく耳にします。健康の維持・増進は生活の質を高めるために不可欠なものです。また、健康であるからこそスポーツにも熱心に取り組めます。本科目では、あらためて「健康とは何か？」を考えた上で、養護教諭やスポーツ指導者が、対象者の健康問題をどのように捉え、健康教育をどのように進めていけばよいのか？そのプログラム作りの基本的な部分を解説します。

教育研究棟 2 階 2201 教室

子どもに見えている自然や科学は大人と同じ？

福田 結美 教授

子どもたちは、小学校で理科を学ぶ前から、自然にふれたりと、科学に関わる様々な経験をしたりして、自分なりに自然や科学を理解しています。その理解が理科で学ぶ内容と違っていたら、授業では何が起ころのでしょうか。子どもの見方や考え方を体験しながら、小学校の理科授業の面白さと教師の役割について考えてみましょう。

教育研究棟 2 階 2202 教室

最新科学でスポーツ現場の定説を再考する

田村 優樹 准教授

スポーツ現場では、「無酸素運動」「乳酸は疲労物質」といった言葉が広く使われてきました。しかし、最新の科学的知見から見ると、これらの定説は必ずしも正しいとはいえません。いわゆる無酸素運動と呼ばれる短距離走でも、私たちの身体では酸素を利用したエネルギー供給が常に行われています。また、疲労の原因と考えられてきた乳酸は、実際には運動中の重要なエネルギー源です。さらに日本体育大学では、乳酸がトレーニング効果を高める因子として働くことを明らかにしてきました。本授業では、スポーツ現場に根づく常識をエネルギー代謝の視点から捉え直し、科学的に運動を考える面白さを紹介します。トップアスリートや体育教師の養成にとどまらない、体育学部「科学の力」を体験してください。

教育研究棟 2 階 3201 教室

3 限目 13:40 - 14:20

スポーツライフマネジメント学科オリジナル科目の

「理論・実習」って何！！

小泉 和史 教授

体育教師、スポーツ指導者としてプログラムマネジメントするためには、まず体得するための体験実習です。スポーツライフマネジメント学科オリジナル科目は、各プログラムにおいて実習のみではなく、より理解を深める理論授業を設定しています。その内容は「リンスポーツ」「ウォーターセーフティ」「スキー」「キャンプ」「ゴルフ」「スケート」「海外アウトドアリゾート」の7 科目です。今回は動画等を活用して説明します。

教育研究棟 2 階 2201 教室

日体大とオリンピック

—全学部の学生が学ぶ「日体大の歴史」—

福井 元 准教授

本学では、全ての学部の学生が「日体大の歴史」を履修します。この授業では、建学の精神や本学の歩みについて学びます。今回はその中から「日体大とオリンピック」をテーマに、オリンピックとの深い関わりや、知られざるエピソードも紹介します。志望する学部・学科を問わず、本学をより深く知りたい皆さんの参加をお待ちしています。

教育研究棟 2 階 2202 教室

保育における子どもの権利擁護

恒川 丹 助教

子どもたちと多くの時間を過ごす保育者は、何を心掛けて関係性を築くのでしょうか。本授業では保育所の1 日の流れや声かけを紹介し、大人の都合ではなく「子どもの最善の利益」を第一に考える関わりを探ります。保護されるだけでなく「権利の主体」として子どもを尊重する保育について一緒に考えてみましょう。

教育研究棟 2 階 3201 教室